

## アルファ・ラバル オンラインセミナー（ウェビナー）ご質問回答

ご参加の皆様、たくさんのご質問ありがとうございました。

掲載しましたご質問への回答は、以下に示しますので、ご参照ください。

その他、ご不明点、ご質問ございましたら、アルファ・ラバルの営業担当者までご連絡ください。

テーマ： **Fuel Line**

実施日時： **2020年5月20日（水）**

No.	ご質問	アルファ・ラバル回答
1	貴社の分離機は全て比重板が無いのでしょうか？また、比重板が無くても分離は可能なのでしょうか？	<p>比重板を使用する分離機もあります。</p> <p>比重板を使用する分離機の型式は「P」から始まります。（例：P615など）</p> <p>比重板を使用しない分離機の型式は「S」から始まります。（例：S815など）</p> <p>ALCAPは"Alfa Laval Clarifier and Purifier"の略で、クラリファイヤを行いながらもピュリファイヤ機能を持つ遠心分離機です。</p> <p>ALCAPには、清浄された油の出口に水分検知器を設けております。水分検知器が油中の水分含有量をモニタリングしており、その含有量が増えると水のドレンバルブが開き、排水します。この機能により、油・水・固形分の分離を可能にしています。</p> <p>クラリファイヤ運転では水と油の境界面は作りません。比重板がないため、成り行きで変化します。</p>
2	流動点が21度以上だとどのような問題があるのでしょうか？	<p>ワックス化を防ぐため、流動点より15°C以上高い温度でタンク内での保管を推奨しております。</p> <p>流動点が21°Cの油は、21°C+15°C=36°C以上での保管ですので、航行する地域によってはタンク内の加熱が必要です。</p> <p>VLSFOは粘度がHSFOに比べ低いものが多く、加熱しすぎると主機に注油する際の粘度が主機メーカー推奨レンジの「2~20cSt」（メーカーによっては10~16cSt）から外れてしまう可能性があります。</p> <p>ワックス化を防ぎつつ、主機に注油する際の粘度も管理する必要があります。</p>
3	流量を絞ることで、一度の処理で分離効率が改善される、との理解でいいのでしょうか？	<p>分離機への通油量を絞ることで分離機内での滞留時間が長くなり、分離効率が改善されます。</p>
4	FCMは、燃料油専用ですか？	<p>今回ご紹介した「FCM Oil」は燃料油専用です。具体的には、HFSO, VLSFO, ULSFO, MGO, MDOなどです。</p> <p>LPGなどのガス燃料、メタノール、アンモニアなどの代替燃料に対応しているFCMもございます。</p>
5	比重板なしの清浄機のデメリットは何でしょうか？	<p>比重板を使用する分離機に比べ、価格がやや高いです。</p> <p>性能面ではデメリットはございません。</p>
6	触媒粒子 AL Siの粒子の大きさはどの程度でしょうか？ Moatti フィルターでどの程度除去できますか？	<p>触媒粒子の大きさは、1~30μmまでと様々ですが、検出された中で一番多かったのは「5~10μm」、次に多かったのは「10~15μm」です。</p> <p>触媒粒子の形状も様々でいびつなものもあり、一概には回答できませんが、8μmサイズの触媒粒子もある程度除去できます。</p>
7	Flow Syncで清浄機の運転台数も制御可能でしょうか？	<p>FlowSyncは分離機へ油を送油するフィードポンプの回転数を制御する機器ですが、油清浄機の運転・停止は制御できません。</p> <p>油清浄機は油清浄機の制御盤で操作いただけます。</p> <p>FlowSyncは1システムにつき、FO分離機4台まで制御が可能です。</p>
8	補油により適合油を混合せざるを得ない場合、性状が当然変わりますが、その場合でも問題なく、水/油の境界線を検出し、清浄するのでしょくか？	<p>分離機へ送油する際、2つの適合油を混合すると分離機内、配管内でアスファルテンスラッジが発生する危険性があります。</p> <p>適合油の混合は避けてください。</p>
9	Moattiフィルターは、自動逆洗で使った油を再度フィルターに通し、スラッジと分離させることでしたが、そのフィルターはどのような構造でしょうか？	<p>当社のMoatti フィルターはフィルタ内部で上下二つに分かれております。</p> <p>下部でサービスタンクから送油された油の濾過を行い、濾過後の油が主機へ流れます。フィルタ内部は常に逆洗を行っておりますが、逆洗には濾過された油の一部を使用しています。</p> <p>逆洗に使用された油はフィルタ上部の「ダイバersionチャンバ」へ行き、そこで再度濾過されます。ここで濾過され、ある程度きれいになった油は、サービスタンクへ戻ります。</p> <p>フィルタ内に溜まったスラッジは、スラッジ排出弁から排出されます。</p> <p>フィルタの構造について分かりやすく説明したビデオがYouTube上にありますので、リンクを添付いたします。</p> <p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=PJMeK5TKXFo&amp;sns=em">https://www.youtube.com/watch?v=PJMeK5TKXFo&amp;sns=em</a></p>

2020年5月25日（月）発行